

# 令和 4 年度公共用水域水質測定結果について



環境省は、水質汚濁防止法に基づく測定計画に従って、国及び地方公共団体が実施した 2022 年度の公共用水域の水質測定結果を取りまとめました。

人の健康の保護に関する環境基準（以下、健康項目）では、ほぼ全ての地点で環境基準を達成しました。生活環境の保全に関する環境基準（以下、生活環境項目）では、河川において BOD はほとんどの水域で環境基準を達成した一方で、COD と全窒素及び全燐では、湖沼では両方とも 5 割程度、海域ではそれぞれ 8 割、9 割程度の達成率でした。湖沼や海域においては、COD 及び COD と密接に関係のある全窒素及び全燐による水質汚濁の改善に必要な状況です。

## 【測定内容】

＜主な測定項目及び測定地点数、検体数等＞

- ・ 健康項目： カドミウム、全シアン、鉛、六価クロムなど 27 項目 5,320 地点、188,385 検体
- ・ 生活環境項目： BOD、COD、全窒素及び全燐 など 13 項目 7722 水域、7,003 地点、451,059 検体

## 【主な測定結果】

対象	分析項目	2022 年度		2021 年度	
		水域数	達成率(%)	水域数	達成率(%)
全て	健康項目	5,320	99.1	5,268	99.1
河川	BOD	2,570	92.4	2,577	93.1
湖沼	COD	191	50.3	192	53.6
	全窒素及び全燐	124	54.0	123	52.8
海域	COD	590	79.8	590	78.6
	全窒素及び全燐	152	90.1	152	90.8

当社では、河川、湖沼等の公共用水域における環境水分析に加え、多くの排水項目の分析についても長年の実績があり、短納期での対応が可能です。是非一度ご相談下さい。

資料 [2024 年 3 月 29 日付 環境省報道発表資料](#)

環境検査箇所 櫻内大介

**消毒副生成物の検査の期間が近づいています！**

特定建築物に該当する建物は、定期で水質検査が義務付けられています。中でも消毒副生成物の12項目は、水質検査の実施時期が決められており、6月～9月の間に実施する必要があります。詳しくは下記URLからもご覧いただけます。

特定建築物における水質検査:<https://www.knights.jp/knightsreport/reports/KR08005.pdf>

